

個人質問

議会事務局 処理欄	令和4年11月2日 14時38分 受付
	質問順位 第6番

武豊町議会議長 石原 壽朗 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

一般質問の通告について

令和4年第4回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 令和5年度 予算編成方針 について	<p>【趣旨説明】</p> <p>10月4日、粕山町長は各部課長に対し「令和5年度予算編成方針」を示し、これまで進めてきた各種のハード、ソフト事業両面にわたり将来を俯瞰しながら、勢いよく事業展開を図っていく。とし、来年度のキーワードを「勢」とした。特に、令和5年度からの固定資産税の増収については、大いに期待するところであり、この増収分を町政発展につなげていくことは、粕山町長をはじめ、職員一同の腕の見せ所であると考えている。しかしながら、増収の見込みではあるが、予算編成方針の中で、町長は「日ごろからあるべき予算の考察を」として、より良い予算編成の取り組みは、予算編成の時期に限るものではない。住民サービスの向上を大前提に、事務の合理化や経済性を念頭に置きつつ、常日頃からあらゆる事業の再検証を行い、スクラップ・アンド・ビルドを基本に事務を見直す姿勢を持ち、時代に即した施策を実施する予算について考察をしていかなければならない。そして、国・県の動向を注視し、常に情報収集に努めること。と、指示を出している。まったく同感であり、このことは全職員共通認識でお願いをしたい。</p> <p>そして、会派みらいとしては、9月21日に「令和5年度みらい要望書」を粕山町長宛に提出をし、事業着手可能なものから順次実施して頂きたい旨を要望したところである。</p> <p>そこで、以下質問をする。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①粕山町長は、令和5年度のキーワードを「勢」とした。この言葉に込められている想いについて伺う。</p> <p>②来年度以降しばらくの間、固定資産税の増加により、大きく増収が見込まれるが、事業予算については、額面通りの町単独事業ばかりでなく、国・県補助メニューも活用しながら、増収分を最大限に活かすために、事業・施策展開をすべきだと考えるが、見解を伺う。</p> <p>③定住先として選択されるまちで、町内最高峰、警固山の周辺整備を図る。とあるが、どのようなことか見解を伺う。</p> <p>④安心して子どもを産み育てることができるまちで、児童クラブの利用ニーズ及び需要増に対応するため、児童クラブの新設、運営体制等の充実を図る。とあるが、どのようなことか見解を伺う。</p> <p>⑤人と人がつながり、互いに支え合い、健康で安心して暮らせるまちで、町民の絆を深めるため、絆予算の充実を図る。とあるが、どのようなことか見解を伺う。</p> <p>⑥産業が持続・発展する活力のあるまちで、令和6年度の町制70周年記念事業を盛り上げるため、イベントを計画する。とあるが、どのようなことか見解を伺う。</p> <p>⑦効率的で効果的な行政運営のまちで、住民サービスの向上及び行政の効率化を目指し、基幹業務システムの標準化・共通化に向けて準備を進める。とあるが、どのようなことか見解を伺う。</p>